

令和 6 年度 園の自己評価

| | | 評価 (1～5) | 今年度の状況 |
|---------------------------------------|---|---|---|
| 教育・保育 | 園児一人一人が安心感と信頼感をもって活動に取り組む体験を十分に積み重ねられるようにする | 5 | 一人ひとりの気持ちに寄り添いながら、温かく見守っていくことで、安心して活動に取り組み、経験と自信を積み重ねていけるように。心掛けた。 |
| | 主体的な活動を促す環境の工夫をする | 5 | 様々な遊びや活動を主体的に楽しめるように、園児の成長や興味に合わせて環境を整えたり、見直したりするよう努めた。 |
| | 自発的な活動としての遊びを通して指導を行う | 5 | 遊びを中心として、様々な体験や経験が楽しめる保育を大切にしていこうと、自発的に遊びを展開する姿が多くみられた。 |
| | 園児一人一人の特性や発達に応じた指導を行う | 4 | 一人ひとりの発達や特性を理解し職員間で情報を共有して、行事等に安心して参加できるように努めた。クラスの負担が大きくならないように、日々他のクラス職員との連携を大切にしていこうと必要があると感じる。 |
| | 活動によって幼保連携型認定こども園教育保育要領に示されている3つの資質・能力が育まれている | 4 | 3つの資質・能力を組み込んだ計画を立案していたが、もっと生活や遊びの中で具体的に意識して保育ができるように心掛けて保育を行なっていきたい。 |
| | 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を意識し、教育・保育にあたっている | 4 | 育って欲しい10の姿を意識して活動に取り入れているが、乳児クラスからの体験や経験の積み重ねをもっと大切にしていきたい。 |
| | 小学校との連絡会に参加し、小学校教育と円滑な接続ができるように情報交換をしている | 5 | 小学校との連絡会に参加して、小学校の様子を伺ったり、進学する園児の姿を伝えたりして情報交換をすることができた。 |
| 健康支援 | 学校保健計画に沿った保健活動を行う | 5 | 園児の健康状態に留意し、感染対策、熱中症対策を通して健康に過ごせた。 |
| | 園児の機嫌や食欲、顔色を観察し、平常とは異なった状態かどうか注意を払っている | 5 | 各クラスで検温・視診を行い、平常とは異なった状態に気づいた時は、情報共有・対応に努めた。 |
| | 体調不良や怪我が発生した場合、保護者に園児の状況を連絡し、適切な対応をとっている | 5 | 職員間で情報共有・相談し、速やかに保護者に連絡を取り、お迎えや病院受診を行った。 |
| | 園児の成育歴や罹患歴、予防接種状況などの情報を把握している | 5 | 入園・進級時、保護者に保健調査票を記入していただき、感染症罹患後は、登園届の提出をお願いしている。 |
| | 保健だよりにて情報発信をしている | 5 | 感染症の症状や予防策、生活リズムの大切さ、園内の感染症の流行状況など発信した。 |
| | 感染症に対して感染症情報を保護者に伝え、感染症予防に努めている | 5 | ほけんだよりや、ホワイトボードで感染症の流行状況をお知らせした。 |
| | 感染症の疑いのある園児に対し、他児と接触しないようにするなど適切な処置、対応をしている | 5 | 感染症の疑いのある園児は、保護者に連絡し、お迎えまで事務室で様子をみた。嘔吐処理も適切に行えた。 |
| | 睡眠チェックを年齢に合わせて必ず行い、SIDSの危険因子が無いようにしている | 5 | 乳児クラスはSIDSチェック表を使用、幼児クラスも職員が見守り、室温や環境整備に努めた。 |
| AEDの使い方も含めた心肺蘇生法について職員全員が理解できるようにしている | 3 | エピペンを預かる園児について、担任と手技の確認を行った。新年度に向けて、全職員と共有していきたい。 | |
| 食育 | 食育計画に沿って園児が食への興味や関心を高めることができるような活動や関わりをしている | 3 | 初めて携わる職員が多く、計画通りに行えないことが多かったが、給食アドバイザーの指導の下、クラス担任と相談しながら食事のマナーやクッキング等の食育活動を行うことができた。 |
| | 安全、安心な給食やおやつを提供をしている | 5 | 安心安全な給食を提供することができた。おやつのカオリティーはとても高く、園児も毎日楽しみにしている様子が伺えた。 |
| | 旬の食材を使用したり、行事食を取り入れたりするなど季節を感じられるような献立作成をしている | 5 | 毎月、旬の食材や行事食、郷土料理や外国の料理などを取り入れている。料理や国などについて掲示物等を作成し、食に関心がもてるように工夫した。 |
| | 栄養だよりにて情報発信をしている | 5 | 食に関する行事の由来や旬の食材についての情報を、毎月保護者の方に発信できた。 |
| | 食物アレルギー対応を適切にしている | 4 | 毎月アレルギーの確認表を配布し、給食提供時にアレルギー受け渡し簿でのチェックと共有を行い、適切に対応することができた。原材料の確認不足などが一度あったため、今後は起こらないように徹底する。 |
| | 離乳食は家庭と情報交換をし、一人ひとりに合わせた献立を作成し、提供している | 5 | 園児一人ひとりの成長や、家庭での様子を担任と確認しながら、個別に形態を変えて提供できた。 |
| 環境・衛生 | 室内の換気を適宜行い、室温、湿度や明るさ、音の大きさなど園児が心地よく過ごせる環境を整えている | 5 | 今年度は猛暑や寒暖差など、気温の変化が激しかったが、その日の天候や園児の様子に合わせた室温、湿度を意識し、過ごしやすい環境を心掛けた。 |
| | 嘔吐物、排泄物の処理に当たっては感染防止のための処理を徹底している | 4 | 嘔吐時はすぐに看護師に伝え、適切な処理を行っている。看護師以外でも対応ができるように、処理の仕方を定期的に確認していきたい。また、排泄物の処理後は丁寧に手を洗い、各所消毒をするなど、感染症の状況等に合わせた衛生管理に十分配慮している。 |
| | 衛生的な空間で園児が生活できるよう、丁寧な清掃を行っている | 5 | 園児が気持ちよく過ごせるように、毎日清掃して、清潔な空間を保っている。 |
| | 調乳や園児の食事介助の際には、手洗いや備品の消毒をするなど衛生面の配慮をしている | 5 | 給食の前には、食事前のエプロン・三角巾を着用して、丁寧に手洗いをしている。また、毎日備品の消毒を行い、清潔な環境で過ごせるように配慮している。 |
| 災害への備え | 学校安全計画・危険等発生時対処要領に基づき、災害等の発生に備えるとともに、防火設備、避難経路等の安全点検を定期的に行っている | 5 | 安全チェック表にて定期的に点検を実施している。職員からの気づきや意見に対して、その都度修繕に努めている。 |
| | 危険等発生時対処要領に基づき、緊急時の対応の具体的内容、手順、職員役割分担について確認をしている | 5 | 毎月の避難訓練であがったツククラスの状況や訓練時の様子から、次回に活かせるよう努めた。検討が必要な事案があった際には、会議等で職員間で話し合い、より安全を守るよう対応した。 |
| | 毎月1回、避難訓練及び消火器訓練を行い、反省をして改善点について検討している | 4 | 日本で災害が増えてきており、以前よりもより身近に危険を感じるようになってきた。あらゆる想定で訓練が行えるよう、園長・副園長と共に話し、内容を見直している。消火器訓練の仕方や実施の方法については見直しを図り、取り入れていく。 |
| | 災害発生時の保護者への連絡、子どもの引き渡しを円滑に行えるよう体制や手順を決め、引き渡し訓練で確認をしている | 5 | 昨年度の反省を踏まえて、速やかに安全に引き渡しができるように、やり方、順序、場所、役割、人の配置など、新たに打ち合わせを作成し計画をした。受付を設けたことで、迎えの確認がスムーズであった。 |
| | 防災備蓄を用意し、保存期間の確認、必要に応じた入れ替えを行っている | 5 | 備蓄管理表にて数や保存期間の確認をしている。年度末には各クラスの非常用持出袋の中身の確認を行う。今年度は安全対策の分野で、法人内研修を行い、今後へ向けて話し合う場を設けた。 |
| 事故防止 | 園児の人数確認を定期的に行い、所在把握をしている | 4 | 園内、散歩先、園外保育において、生活や活動の中で常に人数確認、居場所の把握をしている。早退した園児がいた際の在園数や園児名の把握については、各クラス毎チェック表を用いるなどしての対応の見直しが必要である。 |
| | 遊具や玩具の安全点検を定期的に行っている | 5 | 定期的に点検を行ったり、保育中に各所安全を確認したりしている。気になった箇所があった際は職員間で共有し、早期対応できるようにした。 |
| | 園外での活動に際して、事前に危険箇所を把握し、安全に活動できるようにしている | 5 | 園外で危険箇所があった際には、園児が安全に遊べる場所へ促し、速やかに園長へ報告し、職員間でも共有した。 |
| | 日常的な事故予防として、ヒヤリハットを収集、分析し、事故予防対策に活用している | 5 | 各クラスにノートを配布、記録をし、全クラスの事故記録とヒヤリハットの集計をした。園内研修では、集計を元に対策を話し合った。 |
| | 不審者の対応など危機管理について職員で周知している | 2 | 訓練を用いて、実際に起きた時の避難場所や園児の動き、各職員の役割等細かな対応も全職員で周知できるようにしていきたい。 |
| 子育て支援 | 睡眠、プール活動、水遊び、食事等の重大事故が発生しやすい場面について、マニュアルに基づきその場面に応じた適切な対応を行っている | 3 | 食事や午睡中など、各マニュアルの内容を再確認し、全職員がより丁寧な対応ができるとよりよいと感じた。 |
| | 保護者が積極的に半日保育体験に参加していただけるよう文書や掲示等で促している | 5 | 保育体験の様子をおたよりやドキュメンテーションに載せ、掲示をすることで興味をもち、参加していただけるご家庭が多かった。 |
| | 保護者からの相談に対してはプライバシーの保護や守秘義務を守り、親身に耳を傾ける態度で対応する | 4 | 傾聴する姿勢を大切に対応している。相談内容によってはその場で返答せず、園長等と共有してからお答えしている。 |
| | 状況に応じて内部の体制をとったり、外部機関との連携をとり、適切な家庭支援を行う | 5 | 市役所や発達支援施設、小学校等と話す機会を多くもつことができた。今後も連携を図り、保護者支援を行えるように配慮していく。 |
| 職員向上 | 地域における子育て家庭の保護者等に対する支援を適切に実施している(育児相談・園庭開放・子育て情報誌) | 3 | 園庭開放を利用するご家庭もあったが、地域や子育て情報誌等への働きかけは足りなかったと感じる。 |
| | 内部研修を計画的に行い、職員が共通認識の下で教育・保育にあたることができるようにする | 5 | 各キャリアアップリーダーが中心となって園内研修を行い、保育の振り返り、見直しや質の向上に努めた。 |
| | キャリアアップを含む様々な内容の外部研修に参加できるよう職員体制を整え、資質向上に努める | 5 | 園見学や外部研修、キャリアアップ研修等に積極的に参加し学ぶ事ができた。研修報告等で職員間で情報を共有できた。 |